

2007年7月6日

青島ジャパンフェスタ関連行事 実施報告

会期：2007年6月23日～26日

場所：中国・青島

6月23日～26日（23日は設営）にかけて中国・青島で2007青島ジャパンフェスタが開催されました。中連協では、JATA・ANTAと協力してブースを出展し、併せて現地旅行会社と懇談会を実施いたしましたので、以下の通り概要を報告いたします。現地旅行会社との意見交換会の内容については後日改めて詳細を報告いたします。

I. 2007 青島ジャパンフェスタ概況

会場：青島国際会展中心

出展者数： 31団体／ 58ブース

来場者数：約50,000人（業界関係者約3,000人）

バイヤー数：約70名

- ・6月24日が一般公開日で25日、26日が業界・一般公開日であった。
- ・24日の開幕直後はお客様が殺到して、どのブースもかなりの賑わいであったが、午後になると落ち着いてブースを回れる状況になった。
- ・今回は日中韓観光大臣会合の開催もあり、韓国パビリオンも併設されていたが、日本パビリオンに比べると力の入れ方が弱かったように感じた。
- ・昨年の大連ジャパンフェスタ同様、今回もマーケットに関するアンケート調査を行った。ギブアウェイを用意したこともあり、回収率はよかった（アンケート結果は集計でき次第、会員宛に情報提供させていただく予定）。
- ・今回はJATAと協力しての出展となった。昨年のブースはかなり殺風景だったとの反省から、装飾品を購入し事務局スタッフでブース装飾を行い、手作



(中連協・JATAブース)



(ブースはかなり混雑した)

- り感がありながら人目を引くブース装飾になったと思われる。
- アンケート調査を行う場合、集中して通路を塞いだり、近くのブースに迷惑をかける恐れがある。時間を決め「整理券」を配布するとか、事前に人数を決め、最後尾をはっきりさせるとかの方法を検討する必要有。中国人はとにかく食欲である。出展ブースの中まで入ってくる。最終日はイスでガードした。
 - JATA/中連協ブースの場合、アンケート調査の為一般参加日が重要である。ブースにコストをかけるよりも、ギブアウェイにかける方が良い。但し品物をよく検討する必要有。今回は少々経費を掛け過ぎだったかもしれない。見ていると何でも持っていく。あまりかさばらず予算は@¥50以下にて。(キャラクターのステッカーやビニールファイル等でOKかもしれない)。午前の方が入場者が多く勝負である。
 - アンケートの回収率もよく、用意したパンフレットも全て配布して終了。



(ジャパンフェスタ開幕式)

II. 中国旅行会社との懇談会

日時：2007年6月25日(月) 17:00~19:30

会場：海鮮巨無霸

出席者：日本側旅行会社9社、JNTO、JATA
中国側旅行会社5社

- 中国側旅行会社と中連協会員との意見交換を実施。「いかに中国のお客様に満足していただけるか」をテーマに3つのテーブルに分かれて、カジュアルな形で意見交換を行った。
- 準備で1時間前に行ったが、予定した3名の通訳はおらず、会場は違う場所に案内

させるは、スタートより散々であった。幸い阪急の中国人担当が 30 分前に来てくれ、会場の確認をしてくれたので助かった。日本参加者に 5 分で打合せをし、通訳が 20 分前に来たので、急ぎ打合せをする。会場レイアウトもぎりぎりであった。

- 集合時間に来た中国側は 3 名のみ。日本側参加者にアドバイスをもらい 17:15 からスタートし何とかその時点で 7 名となり、事なきを得た。又 NO-SHOW が 2 名発生した。今後は案内の時間を検討する必要がある。
- 3 テーブルで中国側エージェント 2~3 社という事もあり、忌憚の無い意見が出てきた。事前にアンケートにて要望事項を集約していたので、スムーズな進行ができた。スタートが遅れた事もあるが、30 分延長をした。

今後は、会議室の口の字の堅苦しいセミナーより、食事を取りながらのこの方式の方が、本音の意見を聞けるので良いのではないか。

※意見交換会議事内容は後日報告する。

中連協事務局 須山、布施